

地方創生に係る交付金の活用状況
(地方創生推進交付金【交付対象期間:3年間(平成28年度から平成30年度まで)】)

番号	交付金申請事業名	H30年度 事業概要	H30年度 市予算事業名	H30年度 交付対象 事業申請額	H30年度 交付決定額	補助率	重要業績評価指標					
							指標	戦略基準値	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (4/1～11/30)	平成31年度 (目標値)
①	まるごと加古川にぎわいシティ 創造事業 (計画期間) 平成28年度～平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ●「交流人口の増加」を目的とした地方創生に資する協働のまちづくり推進事業の積極的展開 <ul style="list-style-type: none"> ・市民や市民活動団体等と協働で地方創生まちづくり事業を展開し、市民活動等の自立支援を行うことで、自立し、持続した市民協働の地方創生まちづくりによる誘客を図る。 ●誘客プロモーションの積極的展開 <ul style="list-style-type: none"> ・市内外の大学との協働による稼げるまちづくり ・大学と市内中小企業・団体等との協働・交流。行政、大学、メディアの連携により課題解決に取り組みことで、地域の活性化を図る。 ●「綿の里」を活用したイベントの実施 ●「綿の里」を活用した地域人材の育成に力を入れることで雇用の拡大につなげる。 ●ご当地グルメ等でまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・本市の個性や強みを活かしたご当地グルメの開発や、観光協会のDMO化等について専門家からの視点を踏まえた検討を行う。 ●クラウドファンディングの活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・若者の起業や創業、また企業の事業拡大の支援策として、積極的な取り組みを支援するため、新たに補助事業として展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●協働のまちづくり推進事業補助金交付事業 ●観光まちづくり推進事業 ●大学連携推進事業 ●放棄田等利活用モデル事業 ●クラウドファンディング活用促進事業 	22,024,000円	11,012,000円	1/2	若者(19歳～34歳)の就業者数	27,580人 (4～3月平均)	27,659人 (4～3月平均)	28,186人 (4～3月平均)	28,574人 (4～10月平均)	28,000人 (目標値)
							転出者数	8,131人	8,603人	7,830人	4,589人	7,631人 (目標値)
							観光入込客数	2,172,000人	2,261,277人 (9月末時点: 994,797人)	2,191,570人 (9月末時点: 996,715人)	1,026,283人 (9月末時点)	2,306,800人 (目標値)
②	市民総がかりの加古川流生涯活躍のまちづくり事業 (計画期間) 平成28年度～平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ●見守りネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪等の抑止及び早期解決を実現し、市内における安全・安心の生活空間を創出するため、ICT(情報通信技術)を活用した新たな見守りサービスモデルを構築する。 ●かこがわウェルビーポイントの運用 <ul style="list-style-type: none"> ・地域における見守りボランティア活動等へのポイント付与にかかる運用経費 ●緊急通報システムの維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚や言語に障害のある方などのための新しい緊急通報システムの維持管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ICTを活用した安全・安心のまちづくり推進事業 ●ウェルビーポイント制度運営事業 ●指令システム管理事業 	59,218,000円	29,608,000円	1/2	市外からの転入者数	7,149人	7,917人	7,464人	4,566人	7,649人 (目標値)
							市外への転出者数	8,131人	8,603人	8,493人	4,589人	7,631人 (目標値)
							ボランティア活動登録者数	—	23,387人	26,563人	29,314人	29,093人 ※平成30年度 目標値
③	子育てオフィス等の設置による加古川流『働き方改革』推進事業 (計画期間) 平成28年度～平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てオフィス加古川の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てママが子育てしながら働くことができる託児機能付きワーキングスペースを設置し、子どもを預けながら短時間でも働くことのできる環境を運営する。 ●女性活躍の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てオフィスで働く女性を対象に「キャリアアップ講座」や交流会を開催。 ・出産や子育て等により離職した女性を対象に、OA事務等の就職に必要な技術・知識を、短時間で習得できるスキルアップセミナーを開催。 ●子育てプラザ等の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てオフィスの近接地に移設した子育てプラザにおいて、働きながら子育てをする女性が不安や悩みなどを気軽に相談したり、子育て中の親子同士が交流できる場を提供する。 ・女性が再就労に向けて就職活動を行う際に、準備活動時や面接時等の子どもの一時的預かりサービス等を提供し、女性の再就労の意欲を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●女性活躍推進事業 ●少子化対策推進事業 	7,704,000円	3,852,000円	1/2	子育てと仕事両立できる環境に関して満足している市民の割合	29.20%	38.1%	42.7%	41.6%	37.00% (目標値)
							子育てママの登録者数	—	28人	22人	19人	60人 ※平成30年度 目標値
							女性の就業率	41.00%	—	—	—	45.00% (目標値)
合計				88,946,000円	44,472,000円							

地方創生に係る交付金の活用状況
(地方創生推進交付金【交付対象期間:3年間(平成30年度から平成32年度まで)】)

番号	交付金申請事業名	H30年度 事業概要	H30年度 市予算事業名	H30年度 交付対象事業額	H30年度 交付決定額	補助率	重要業績評価指標					
							指標	戦略基準値	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 (目標値)
④	加古川流若者の移住・定住促進(結婚から子育てまで“ぐうっと”応援するまち)緊急プロジェクト (計画期間) 平成30年度～平成32年度	<ul style="list-style-type: none"> ●「事業カタログ」等作成、ロゴ活用等ブランディング ●結婚から子育てまでの事業を一元化し、事業を一見できる「事業カタログ」作成 ●住環境や自然、観光やグルメ、人の魅力など、市の魅力をPRするパンフレット作成 ●まち中ブランディング大作戦 ●コミュニティバス「かこバス」のラッピング。 ●市内シネコン及び神戸市のシネコンにおける市PR動画の上映。 ●シティブロモーション映画の活用 ●平成29年度に制作した映画のDVD制作。 ●映画のロケ地めぐりや、映画に登場する食を通じたワークショップの開催。 ●専門人材の確保及び高校生応援隊を中心とした市民ボランティアによるPR ●シティブロモーション専門の人材の設置。 ●各種移住定住イベントへの出展。 ●高校生によるシティブロモーション動画製作。 ●大学生及び保護者を対象にしたインターンシップのマッチング ●ワーキンググループの設置、ワーキンググループによる起業・創業支援策や高校生・大学生を対象にした事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●シティブロモーション推進事業 ●政策推進事業 ●インターンシップ支援事業 	14,568,000円	7,284,000円	1/2	市外からの転入者数	7,917人	/	/	/	8,287人 (目標値) 3年間で370人 増加させる
市外への転出者数	8,603人	7,973人 (目標値) 3年間で630人 減少させる										
婚姻数	1,222件	1,252件 (目標値) 3年間で30件 増加させる										
起業・創業等支援件数	0件	15件 (目標値)										
合計				14,568,000円	7,284,000円							

「結婚から子育てまで“ぐうっと”応援するまち」ブランディング緊急プロジェクト 平成30年度取組状況

1 関連施策の充実を図る取組み

緊急プロジェクトのコンセプト「結婚から子育てまでを応援」に直接的、副次的に関連する、新規施策の立案、既存事業の見直しについては、施策の企画から実行、その後の評価、事業の見直しまでを継続的に繰り返す、本市の施策マネジメントシステムの中に組み込んで実施。

(1) コンセプト「結婚から子育てまでを応援」に直接的、副次的に関連する新規施策の立案

各部から提案のあった緊急プロジェクトに関連する事業について、庁内協議を経て、平成31年度の新規事業の予算案を、3月議会に提案予定

(2) 地方創生推進交付金等、地方創生関連事業費の財源確保

- ①平成31年度新規事業案の中からプロジェクトに関連づけることができる事業の財源確保として、地方創生推進交付金を申請（平成31年度事業分は現在国において審査中）
- ②ひょうご地域創生交付金の活用・・・平成30年度事業の財源確保(申請事業単位5事業-市予算事業 15事業)
 - ・日岡山公園周辺地域賑わいづくり事業（市予算事業 日岡山公園再整備事業など 2事業）
 - ・移住定住促進事業（市予算事業 保育士確保事業・病院跡地活用事業など 8事業）
 - ・農業・商業振興事業（市予算事業 農業振興事業など 2事業）
 - ・スポーツによるまちの賑わいづくり事業（市予算事業 オリンピック・パラリンピックスホーツ推進事業など 2事業）
 - ・スマートシティ推進事業（市予算事業 1事業）

(3) 地方創生推進交付金の充当事業の総点検

平成30年度をもって地方創生推進交付金の財源充当が終了することを受けた、事業の継続にかかる協議

- ・大学連携推進事業(知を結ぶプロジェクト)
- ・協働のまちづくり推進事業補助金交付事業
- ・女性活躍推進事業(子育てオフィス)
- ・クラウドファンディング活用促進事業
- ・観光まちづくり推進事業
- ・放棄田等利活用モデル事業(綿人づくり関連)
- ・少子化対策推進事業(子育てプラザにおけるオープンルーム、一時預かりサービス)

2 シティブロモーションにかかる取組み

緊急プロジェクトでは、関連施策の充実のほかに、既存事業も含め、事業の対象者だけでなく広くPRすることのほか、行政の枠組みを超えた、多様な主体との協働によるシティブロモーションを重視している。そのために、庁内・庁外連携に資する取組みを促進。

(1) 既存・新規事業のPRについて、シティブロモーションとの連携を促進

- ①結婚から子育ての各ライフステージにかかる事業を、パッケージ化してまとめたパンフレット「ずうっと！かこかわ」を制作。宅建協会研修会、住宅展示場の各ハウスメーカー、移住イベント等の各イベント、子育てプラザ、成人式等で配布
- ②広報紙による緊急プロジェクトの特集記事における各施策のPRや、病後児保育事業や奨学金返還支援事業など、所管課と連携したフェイスブック等による施策のPR

(2) プロジェクトの重要なポイント「市民等との協働によるシティブロモーション」の促進

- ①「結婚から子育てまでぐうっと応援するまち緊急プロジェクト本部」ワーキングチームにおける取組み
 - ・播磨圏域連携中枢都市圏の中枢都市姫路市とイオン株式会社が締結した「包括連携協定」を積極的に活用し、イオンリテール株式会社との連携した取組みとして、「加古川市とイオン加古川店とのコラボ企画『ぐうっとかこかわデー』を開催(予定)し、市の重要施策(子育てプラザや見守りカメラなど)をPR
 - イオン加古川店でこの日限定で割引の実施を依頼（かこかわアプリをダウンロードしている人など）

⇒今後、他店舗において横展開を検討するとともに、他の連携協定等を積極的に活用し、行政の枠組みを超えた多様な主体との協働したシティブロモーションを促進

- ②地域課題の解決に向けた取組に、アクティブシニア層の参加を促進するため、公民館の高齢者大学において、出前講座「地方創生に向けた取組について(ポイント制度、かこかわアプリ等のPR)」を実施

- ③秘書広報課、政策企画課、情報政策課、産業振興課、観光振興課等が連携し、イベント等において施策をPR

地方創生に係る交付金の活用状況
(地方創生加速化交付金【交付対象期間:1年間(平成28年度)】)

番号	交付金申請事業名	事業概要	市予算事業名	交付決定額	実績額	重要業績評価指標					
						指標	事業開始前	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (4/1~11/30)	平成31年度 (目標値)
①	クラウドソーシング&クラウドファンディング利活用一市二町連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ●クラウドソーシング体験プログラムを実施し、育児や介護等でフルタイム勤務が困難な女性や豊富な経験・知識・技術を持つ高齢者等の新たな就労機会の創出に取り組む。 ●クラウドファンディングを活用することで、域内事業者が抱える農作物の差別化や魅力ある商品・サービスの開発・高付加価値化に取り組み、若年者にとって魅力的なしごと場の創出と所得の向上を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画推進事業 ●政策推進事業(クラウドソーシング等利活用推進業務委託) 	13,000,000円	12,993,480円	在宅ワーカー	0人	40人	0人	0人	180人 (目標値)
						在宅ワーク・プロデューサー育成	0人	0人	0人 (累計0人)	0人 (累計0人)	2人 (目標値)
						クラウドソーシング等・プロデューサー	0人	2人	0人 (累計2人)	0人 (累計2人)	2人 (目標値)
						成功事例数	0人	3件	10件 (累計13件)	7件 (累計20件)	16件 (目標値)
②	地域総ぐるみで子どもを見守り育てる生涯活躍のまちづくり事業	多くの市民が社会貢献に参加するきっかけや楽しみとなる仕組み(ポイント制度)を創設し、民間ポイントシステムの活用や紙媒体での運用を可能とするプラットフォームを構築する。また、子どもの居場所づくり活動等に対してポイントを発行するとともに、ためたポイントは寄付や、地場産品との交換、地域店舗等での利用などを可能とすることで、コミュニティの活性化や地域経済の活性化にもつなげる。	●政策推進事業(ボランティアポイント構築業務委託)	27,840,000円	27,820,800円	子どもの居場所づくり活動数	0回	544回	1,920回	1,472回	1,500回 (目標値)
						子どもの居場所づくり参加者数	0人	2,219人	3,083人	3,724人	10,000人 (目標値)
						子育て支援団体数	15団体	23団体	35団体	45団体	50団体 (目標値)
						子育てと仕事が両立できる環境に関して満足している市民の割合	29.20%	38.1%	42.7%	41.6%	37.00% (目標値)
③	放棄田等利活用モデル(仮称)綿の里を活用した「綿人(わたびと)」づくり事業	放棄田や休耕田を活用し、地域住民や地元企業、地元大学と連携のうえ、(仮称)綿の里整備計画の策定、古民家を活用した綿栽培の地域拠点の整備、綿を栽培する農家「綿人(わたびと)」の育成に取り組む。また、地域産業の活性化を促進するとともに、雇用を生み出し、移住促進と地域の担い手不足を解消する。	●放棄田等利活用モデル事業	15,000,000円	13,156,000円	本事業による移住者数	0人	0人	0人 (累計0人)	0人 (累計0人)	30人 (目標値)
						綿の里登録者数(定員70人に対する割合)	0%	0%	5.7% (累計5.7%)	10% (累計10%)	100% (目標値)
						未利用資源の活用件数(平成28年度当初からの累計)	0か所	1か所	0か所 (累計1か所)	0か所 (累計1か所)	10か所 (目標値)
						綿花の耕作面積(平成27年度耕作面積を基準)	0㎡	19,000㎡	3,130㎡ (累計22,130㎡)	3,130㎡ (累計25,260㎡)	140,000㎡ (目標値)
合計				55,840,000円	53,970,280円						